

科目名 (科目番号)	臨床解剖学演習 (時間割参照)	教員名	本間 光彦	学科等	診療放射線	必修	履修年次	2
	曜日・時限等			時間割表参照	単位数	1		
	授業形態			演習	オフィスアワー	B316		
授業概要	人体構造を画像化する診療放射線技師にとって、人体構造を立体的に理解していることはとても重要である。この授業では、解剖学・生理学で学んだ知識の再確認をしながら、人体模型などを使用し、神経系と各器官・臓器の立体的構造の理解を深めるための学習をする。							
目的・目標	目的:人体構造で、内臓系と神経系の各器官・臓器の立体的な構造について学習する。 目標:各器官・臓器の立体的構造と、それぞれの位置の関係を理解できる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	臨床解剖学概論	到達目標:臨床解剖学概論、組織学、外皮系、発生学概論について理解する。 学習内容:解剖学の考え方、組織学、外皮系、発生学の基礎について学習する。					
	2	胸部1	到達目標:胸部の脈管系、乳房、心臓について立体的な構造を理解する。 学習内容:胸部の脈管系、乳房、心臓の立体構造を模型などを用いて学習する。					
	3	胸部2	到達目標:肺、気管、気管支について立体的な構造を理解する。 学習内容:肺、気管、気管支の立体構造を模型などを用いて学習する。					
	4	腹部1	到達目標:腹部の脈管系について立体的な構造を理解する。 学習内容:腹部の脈管系の立体構造を模型などを用いて学習する。					
	5	腹部2	到達目標:腹部内臓について立体的な構造を理解する。 学習内容:腹部内臓の立体構造を模型などを用いて学習する。					
	6	骨盤部	到達目標:男性生殖器、女性生殖器について立体的な構造を理解する。 学習内容:男性生殖器、女性生殖器の立体構造を模型などを用いて学習する。					
	7	頭頸部1	到達目標:頭頸部の脈管系について立体的な構造を理解する。 学習内容:頭頸部の脈管系の立体構造を模型などを用いて学習する。					
	8	頭頸部2	到達目標:口腔、咽頭、喉頭について立体的な構造を理解する。 学習内容:口腔、咽頭、喉頭の立体構造を模型などを用いて学習する。					
	9	神経系概論	到達目標:神経組織、中枢神経系と末梢神経系について理解する。 学習内容:神経組織、神経系の構造を学習する。					
	10	中枢神経系 (脳)	到達目標:中枢神経系 (脳) について理解する。 学習内容:大脳・間脳・中脳・橋・小脳・延髄の構造と働きについて学習する。					
	11	中枢神経系 (脊髄)	到達目標:中枢神経系 (脊髄) について理解する。 学習内容:脊髄の構造と働きについて学習する。					
	12	末梢神経系 (脳神経)	到達目標:末梢神経系 (脳神経) について理解する。 学習内容:脳神経の走行と標的器官の相互の位置関係と働きについて学習する。					
	13	末梢神経系 (脊髄神経)	到達目標:末梢神経系 (脊髄神経) について理解する。 学習内容:脊髄神経の走行と標的器官の相互の位置関係と働きについて学習する。					
	14	神経伝導路	到達目標:神経の伝導路について理解する。 学習内容:神経の上行性伝導路と下行性伝導路の構成について学習する。					
15	自律神経系	到達目標:自律神経系について理解する。 学習内容:交感神経と副交感神経系、内分泌ホルモン系の働きについて学習する。						
成績評価の方法・基準	小テスト (20%) + 期末試験 (80%) (対面、オンライン共通)							
教科書	1:プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト第2版 2:入門人体解剖学 改訂第6版			1:中野隆 2:藤田恒夫		1:医学書院 2:南江堂		
参考図書	人体解剖学 改訂第42版			藤田恒太郎		南江堂		
教員からのメッセージ	自分が疑問に思うことは、他人も疑問に思うことが多いです。講義中の質問は非常に役立つので、疑問点があるときは、積極的に質問をしてください。 病院で勤務した診療放射線技師がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。							